

34.9.28

田中史

三叔

昭和三十四年九月二十八日招集
第三回市議定会定例会々議錄

昭和三十四年館山市議令第三回定例令々議錄

一 昭和三十四年九月二十八日午前十時館山市議令第三回定例令々館山市役所分館令議室に招集

一 出席議員数(三十三名)

一 番	萩生田七郎	二 番	黒川佐太郎
三 番	長谷川光江	四 番	加藤良太郎
五 番	田中忠藏	七 番	山本昇
九 番	志村信作	一〇番	後藤ゆき
一一番	田中禄郎	一二番	田村喜兵衛
一四番	北山茂雄	一五番	江田徳太郎
一六番	吉田勇治郎	一七番	川名房吉
一八番	安西政治	一九番	嶋貫壮作
二〇番	遠山ヨネ子	二一番	飯田義男
二二番	石橋利磯	二三番	山口康

二四番 佐野 信 二五番 脇田 順一

二六番 鈴木 市藏 二七番 鈴木 孝

二八番 安次 德順 二九番 岩崎 静敬

三〇番 石井 孝 三一番 鈴木 茂太郎

三二番 小林 寅之助 三三番 山口 幸三

三四番 三沢 節 三五番 法不 嗣郎

三六番 嶋田 繁

一欠席議員數(三名)

六番 松本 藤太郎 八番 石井 梨

一三番 吉田 辰雄

一法第百二十一条による出席説明員

市 長 田村 利男

助 役 小出 武男

総務課長 完戸 貴

收入送代理

真田 森吉

稅務第一課長

山口 実

第二課長

伊藤 幸太郎

商工水産課長

羽山 房雄

建設課長

新井 重助

福祉事務所長

長谷川 弘治

保險課長代理

多田 俊一

農産統計課長代理

岩崎 一郎

市政課長

高木 哲三

厚生課長

神作 啓次郎

送管事務長

渡辺 茂

豊房診療所事務長

池田 亮山

教育課長

工藤 和平

庶務課長

鶴沢 貫覚

監査委員 内 武夫

一本議会の事務局長書記および職員

事務局長 高梨清一

書記 太田博雄

職員 山口晴之

昭和三十四年第三回館山市議今定例今議事日程

昭和三十四年九月二十八日午前十時開議

報告才一三号 昭和三十四年度八月臨時出納検査報告

日程第一 一四号 九月例月検査報告

一五号 公益債屋監査報告

日程第二 議案才五七号 公平委員今委員選任について

日程第三 才五八号 教育委員今の委員の任命について

日程第四 才五九号 消防自動車用ニヤミ一購入について

才六〇号 消防自動車ポンプ購入について

日程第五 議案才六三号

昭和三十四年度館山市才入才出追加更正

予算

日程第六

才六一号

土地の買収について

"

才六二号

工地の売却について

日程第七

本日の会議に付した事件

議事日程に同じ

議長(菰生田七郎君) 本日の出席議員数三三名より才

三回定例会を開会いたします。

本定例会の議事必要上田村市長小出助次
完戸課長、羽山課長、奥田收入送代理、渡辺書記
長、新井課長、吉田課長、山名課長、長谷川所長
神作課長、高木課長、山口課長、伊藤課長、安藤
藤署長、池田事務長、工藤教育長、鶴沢課長、又田

主事、閲査委員以上の出席を求めましたので報告いたします。

今議録署名員の決定を行います。

お諮り申し上げます。従来例にならしまして議長
の指名により決定いたしますことに異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(萩生田七郎君)が異議なしと認めます。

よって五番議員田中忠藏君、三四番議員三沢節
君以上二両君に決定いたしますに異議あり
ませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(萩生田七郎君)が異議なしと認めます。

よって決定いたします。

議案を配布いたします。

(議案 配布)

○議長(萩生田七郎君)今期の決定を行いたいと思います。

本定例会の今期については議今運営協議会の意見は本日一日ということであります。

お諮りいたします。今期と議今運営協議会の意見の通り決定いたしますに異議ありませんか。

(異議なしと呼ぶ者あり)

○議長(萩生田七郎君)異議なしと認めます。

よって今期は一日と決定しました。

杳の議事はお手元に配布の日程表により上程いたします。

日程第一 報告第一号一四号一五号一括上程いたします。

す。

(書記朗読)

報告第一三号 昭和三十四年度八月臨時出納検査報告

一四号

九月例月検査報告

一五号 公益費屋検査報告について

(岡武天君登壇)

。検査委員(岡武天君)八月十三日 昭和三十四年才一回臨時出納検査 四名の議員の立合を得て 実施いたしました。その結果の報告を申し上げます。

帳簿についてましては 證據書類等正確に処理されていることを報告申し上げます。

まず一般今計 市税においてこの期間に千百三十八万六千六百三円入っておりまますがこの内訳の主なもの は 市民税が約百五十六万 固定資産

税が約六百四十万円　タバコ消費税が六月分として入っておりますが百四十六万一千八百七十円
その他電気ガス税が百五十万円　都市計画税が三十五万円等でございました。市税の収入未済額は九千二百万円余計上されておりますが納期のこないものが約五千五百万ほどございました。正味の滞納額が約四千百七十万円でございます。税外収入におきまして千四百三十万円余り入っておりますがこの内繰入金として五百万円、これは庁舎建設積立金のうち定期預金の期日がましましたものを一般会計へ繰入れたものでございます。その他国庫支出金が二百八十万円余入っております。

又これにおきまして二千六百^万円余出ておりますが

七月三十日に戸田畑に庁舎建設費として一千万円
支払われております。

支出金差引まして六千七百五十八
円の剰余金がございます。この内公益債屋
へ二十万円 国民健康保険へ五十万流用して
差引三千七百五十八円市金庫にありま
す。

次に特別会計に移りまして公益債屋でござい
ます。収入支出につき特に申し上げることもござ
いません。収入支出差引まして十一万一千
九百六十七円の不足でございます。一般全
計より二十万円流用さうけ金庫の現在高は
八万八千三十三円となっております。 貸付

現在高は二百四十六万四千八百五十五円でござい

ます。この内訳は船形貸屋が百五十一万八千六百二十円、富嶽貸屋が九十四万六千二百三十五円でございます。

次に国民健康保険でございますが保険料の収入未済額が三千五十八万四千六百五十三円計上されております。税金と同じに七月中に一年

分の保険料を調定いたしますのでそれだけの数寧ろでておりますがこの内納期のないものが千九百三万余円でして差引の滞納が約一千百五十五万円であります。収入におさまして事業勘定

その他の収入として三百七十九万九千七百七十円入っておりますが大体が国庫支出金ですが事務費の負担金として七十七万八千円は費の負担金として三百十一万円国庫から入っております。

以上で報告第一三号の説明を終りました。第一四号に移ります。

九月十三日が日曜でしたので十四日に例月検査を実施いたしました。その報告につづまして説明申し上げます。

一般会計におきまして市税の収入が千六百七十四万八千六百五十二円。この内訳は市国税が四百十四万円、固定資産税が九百九十二万、タバコ消費税が七月分です。百九十九万四千三百十円。都市計画税が五十七万七千円等でございます。

税外収入は七百五十八万円余り入っております。その内五百万円がやはり庁舎積立金からの繰入金でございます。

市税の収入未済額は七千九百三十一万三千百十四円と

なっておりますが納期のないものが約四千八百
二十三万円でございますので正味の滞納が約三千
百七万円でございます。

支出におきましては千六百六十六万月余出てお
ります。特にとりあげて報告する件もございま
せん。収入支出差引をしまして六千八百三十八万六千
八百五十八月の剰余金がでておりましてこの内二
十万月も公益貨屋へ流用して差引を六千八百十八万
六千八百五十八月市金庫等にございます。

次に特別会計ですが公益貨屋につきまして欄外の
収入支出差引をしますと十五万三千八百九月の不足
でございます。一般会計より二十万月一時流用
をしまして差引を四万六千九百九十一月が金庫の現在
高でした。貸付現在高は二百四十八万二千九百五月

で先月と大差をございませぬ。内訳は船形貨屋が百五十三万一千四百七十円、富崎貨屋が九十五万六千三百三十五円です。

次に国民健康保険事業勘定で保険料収入が三百八十一万七千七十六円をございました。

収入未済額が二千六百七十九円余計上されております。そのうち納期のこないものが千八百九十十六円をございますので、差引き保険料の滞納額は約七百七十四円をございます。

以上で第一四号の説明を終ります。

次に報告第一五号に移ります。

八月二十八日に公益貨屋につきまして昭和三十三年末の全営状況を監査しました。支入支出についてみますと支入が五百六十五万八千六百七円、支出が

五百五十七万七千八百六十七円でございますして又
入才出差引きまして八万七千四百四十円の黒字と
なっております。

次に資金状況については一般会計からの繰入金バ
釐屋開設以来昨年度まで百四十万円でした。

三十三年度中に百万円繰入れられました年度
末においては二百四十万円の収入となっておりま
す。なお市債につきましては釐屋開設以来前
年度末におりました残高が二百八十五万五千九
百十五円入ったのでございます。三十三年度中

の発行高はございませんで償還高が五十九万九
千八百八十五円差引き年度末現在高は二百
二十五万六千三百円でございます。なお年度
中市債の支払い利子は十七万六千四百十一円が

ございます。三十三年度一般会計より百円月
受け入れたのでございますが年度末において
はわずかの八万七千四百四十円の繰入金をも有したに
すぎないのでございます。手元資金が乏しめ
て貧弱で借受人が一割とうした場合ちよっ
とこの資金では不安でございます。当局は
なんどきにおいても市民の要求に応じ得るよ
う貸付資金の確保に努めていたまうまいので
ございます。

次に貸付状況についてみますと前年度末の現
在高が二百十八万一千二百二十五円にございました。
三十三年度中の貸付総高は三百九十二万七千
七百円として同じく回収高は三百三十七万一千
三百二十円との外流矢処分によりまして売却

したものがございます。その売却高によつて元金を回収したものが十七万一千七百円、この売却処分で元金^の損失を生じたものが十二万五千七百十四、年度末における貸付現在高は二百四十三万三千七百五円でした。なお貸付状況につきまして最近五ヶ年間の状況をみなのです。この表の数字の通りでございます。表ですぐわかりますように貸付高の資金の回転が非常におそいのでございます。これは期限が至っても受け入れができないという証拠だてるものだと思います。

貸屋の営業は資金の回転をなるべく早くしていくことがもつとも大事だと思ひますのでこの点について当局は今一筋の努力を尽されるよう

切望いたす次才でございます。

次に貸付金の固定について 昭和三十一年度以前に
貸付しましたもので、利息も入らず受けもどし
もしてないものまゝになつてゐるの、この表にで
ている数字です。 社会福祉としての公益債
屋でございますのでな、く考えたら、うちに一概
には実行でませんけれども、できるだけ流矢物
の処理については元金の損失額を最少限にと
めるように整理方法について考究される希望し
て次才です。

なお三十三年度の流矢物の売却処分についてみた
のですが、流矢物三百四十五口、元金において二十
九万六千八百七十円を売却処分しました。
この売上代金、十七万三千七百円、そしてその内

二月の利息として受け入れあと十七万一千七百円を元金へ入れて処理されており、送って貸付元金において十二万五千七百七十円の損失を生じているのをごいいます。

以上で報告の説明を終ります。いろいろの表を添付いたしましたので、参考にしていただきたいと思います。貸借対照表において、ごうんに

ありますように、本年度損失金、事業全営的にみますと損失金として六十九万二千二百二十九円であります。開設以来の損失金を合計い

たしますと二百五十九千二百三十一円、以上で

報告の説明を終ります。

○三三番(山口幸三君)国民健康保険料金が七百万以上あるという説明ですが、運営上多大な支障を

をたしてゐるのではないかと思われます。

要は医者代が完全に支払われてゐるか否か、それからさういう払わない人は経済上から払えないのかあるいは制度の不满に対して払わないのかそれをお尋ねします。

○保険課長代理(多田俊一君)一応私の方としましては一部負担金として医者へ支払いいたします。個人がいかにか払っているかはいかばかりでありません。私の方は徴収を現任しまして……(雑音多く聴取不能)……個人が医者に払っているかどうかはわかっておりません。(制度経済上の問題と呼ぶ者あり)市の方から医者に払っております療養費は別に滞納はございせん。現在医者には二ヶ月後に支払いするといふことになつてお

ります。以下器具の支払いは別にまじつかえな
いのです。制度に対する不満のため滞納するか
どうかというご質問ですがこれに對しましてはで
きるだけ皆様方に国保の理解をいたさまして
今のところあまりそういう不満は伺っていない、従
って（雑音多く聴取不能）……（了承と呼ぶ者あり）

○議長（萩生田七郎君）日程才ニ議案才五七号。

（書面 記 朗 読）

議案才五七号 公平委員今委員選任について
○助役（小出武男君）議案才五七号についてご説明申
し上げます。

本議案は公平委員今委員の選任についての議案
です。……今市の公平委員として三名委嘱し

てございますがその内の小宮軍一郎氏は本年八月三十一日をもって任期満了にまいりましたので本議令におまましてこれが一名の補充選任をしたいと思います考えました次才でございます。

つぎましては小宮氏は多年市政に非常に熱心でや、ておられますして非常に適任と考えますので更に当小宮軍一郎を再選したいとこのように考えまして本議案を提出した次才です。

○議長(萩生田七郎君)ご異議ございますせんか。

(「異議なしと呼ぶ者あり」)

○議長(萩生田七郎君)ご異議なしと認めます。

よって本委員も同意することと決定しました。

○議長(萩生田七郎君)日程才三議案才五八号。

(書記朗読)

議案才五八号 教育委員会今の委員の任命について
の市長(田村利男君)三年生委員であつた網代氏が今
回任期満了になりましただので網代氏を再び選
任いたしたいと考へた次才でございます。

網代富藏氏は師範学校を卒業しまして一時
送職員にござりましたがその後齒医者となつて
現在は齒医者をやつてゐるものです。教育に
対する非常な高い熱意をもつておりますし
現在教育委員会の中で重要なメンバーでせう
この人を再選したいとさういうふうには市長は考
へるものです。ご承認をいたさうと思ひま
す。

議長(萩生田十郎君)ご異議ございませうか。

(異議なしと呼ぶ者あり)

○議長(萩生田七郎君) 異議ないものと認めます。

よって議案オ五八号原案通り決定いたしました。

○議長(萩生田七郎君) 日程オ四議案オ五九号六〇号一括して上程いたします。

(書 記 朗 読)

議案オ五九号 消防自動車用シャーシ購入について

六〇号 消防自動車ポンプ購入について

○総務課長(完戸 貴君) 議案オ五九号六〇号関連が

ございますので一括の説明申し上げます。

最近鎌山市におきましては非常に火災が少な

くなりまして、ございまして、ボヤ程

度でいずれも初期のうちに消しているのをごぞ

います。これは市民が火災に対する認識を高め
たこと、施設が充実したこと、によるのが大きな
原因であらうと考えるのです。我々消防に関係
している者としてしましては大変うれしいのでござい
ます。しかしポンプが年々老朽化していること
につまましては頭を悩めている次方でもございま
す。この老朽ポンプの中で十一分団が下町から
新井仲町桶見上須賀と六地区にまたがって
いる大きな地区ですが大体千二百六十世帯を有
してあります。それで大地区で持つておりますポ
ンプが特に老朽がはな／＼しいのでございます。
現在ございますポンプは三十年前のダッチですが毎
年修理費がかさむので地元ではなんとかして本
年度新しい車を買いたいという動きが活発に

なつて参つたのです。

本年度の国庫補助額も

先般ようやくましましたのでいよいよ地元の要

望にそうべく地元の分回と後援金と市と三者で合

同していろいろ協議したのですがその結果シャー

シーはゼいイスズにしたいそれからポンプは三段

タービンにしたい 価格は二百万円を限度にして購

入したいという基本線だったのでございます。そ

こで数社からポンプの見積り書もとりました。地

元の希望にそうように検討した結果 シャーシーは

イスズ百四十馬力のもの、これは現在がソリンシャーシ

ーとしては最高のものでございます。 ポンプは日

造の高圧ミ^{バランス}鋭タービンがよいというところまゝた

のでございます。

そういう関係で地元や市で要求するところの必要

な条件をつけましてこの業者といろく交渉を重ねました結果シャーシーは百十五万、ポンプは機装一式で八十五万と交渉がまとまったのでございます。ポンプの機装はシャーシーが入港しましてかう大体二ヶ月を要する見込みでございます。おそくも十一月中には納入される予定でございます。議令のご協賛を得ましたならばぜひちに本契約を結ばしまして機装を急がせて本年度の火災期に万全を期したいと考える次第でございます。

よろしくご協賛の程をお願いしたいと思っております。
○三番山口幸三君 大体いまの説明でわかりました。この二つのもの、ポンプは現在のある車も廃車しないで二つとも買うという意味ですか。

○総務課長(宛先) 貴君(シャーシー)はご承知の通り機械だけ

ついで骨組にこんだポンプを移送しましてそれで
一台のポンプとさういうふうな（「わかりました」と呼ぶ
者あり）

○ニ七番（鈴木 孝君）さう今課長さんから説明がありました
が三銃でバランスタービンというのがでましたのか。

○総務課長（完戸 貴君）消防には現在三銃バランスタービ
ンと二銃バランスタービンがございますが大体館山市
の消防署は三銃タービンを使っております。これは
比較的平地の多いところだと二銃タービンでもま
しつかえなさいと思っております。そういう関係で
三銃タービンは今までもやはり購入議案としてでた
ことがございます。

○ニ七番（鈴木 孝君）さうバランスということですが三銃では
私初めて聞いたんです。二銃バランスは作るが三

銭は作らないとまいておりますが、お伺いします。

。総務課長 完戸 貴君（バリス）はまちがっていました。

高庄（三）銭タービニポニブです（了解しました、異議なしと呼ぶ者あり）

。議長（萩生田七郎君）お諮りいたします。議案オ五九号（六）号と原案通り決定することにご異議ございませんか。

（異議なしと呼ぶ者あり）

。議長（萩生田七郎君）ご異議ないと認めます。

よって本案は原案通り決定いたしました。
しばらく休憩いたします。

十一時。分休憩

十三時五十分再開

議長(萩生田七郎君)午後のお席議員数二十七名 休憩あり

に引続いて開きます

日程才五議案才六三号

(書 記 朗 読)

議案才六三号 昭和三十四年度飯山市才入才出追加更正

予算

。市氏課長(高木哲三君)市役所の住民登録についてご説明申し上げます。

三十八万三千七百五十円追加をお願いしましたがこれは福祉年金の裁定申請に戸籍謄抄本及び住民登録の謄本にともものうものがたい半でござい
ます。賃金で九万五千二百五十円臨時用人料で
ございます。一一節四万一千円は感光紙と現像液
でございます。印刷製本費で五万二千五百円は戸

籍系本用紙と住民登録事務用紙でございます。
備品費の十九万五千円は福祉年金の裁定に必要
な戸籍謄抄本九月から開始されましたが短期間
に作成する必要上コピー一台十八万五千円で購入
していただきました。本庁ならびに出張所の戸籍
が洋画写真によつてぜひ処理したいと思いまし
てお願いする次第でございます。印鑑はバイニン
グ購入費は十冊^{づつ}ありますと本庁の印鑑は全部
バイニング式になりますのでお願いいたします。

庶務課長(鶴沢貫寛君)七款教育費について説明申し
上げます。

一項、教育委員会費におきまして一万七千九百五十
円を追加しましたが昭和三十四年度におきまして
教育長給与費の国庫補助金が内定しましたので

それにとりもう教育長の給与と増額するたための給
与費でございます。更員給において一万六千八十
円職員手当の期末手当四千二百円勤続手当千四
百九十円それにとりないます恩給組合員税金、共
済組合員税金でございます。

小学校費におきまして二十万四千四百円追加を願
いいたします。報償費の三千円消耗品費の千

円印刷製本費の五千円通信運搬費の千円以
上一万円は本年度館野小学校が国語の研究学
校に指定されましたので果から五千円の補助金
がありますと同額市費で負担するわけです。
備品費におきまして十四万六千八百円です。器
具費から三万一千三百円も更正しました。これ
は工事請負費四万三百円。那古小学校の電気配線

工事費これえ更正したわけです。那古小學校は
本年度理科教育の指定校になっておりますために
どうしても電燈配線等そのかなければ理程教育バ
でござんのでそのための工事費でございします。
器具費で三万一千三百円更正しましたが更にその
中に一万円が追加されましたがこの一万円はオ
入にもってあります畑小學校テレビの貸付金分
を増額したわけですよ。教材費として十五万八千円
円追加しました。当初予算に計上しました教材
費に更に本年度は増額されましたのでその不足
分を計上したわけですよ。それから理科教育で理科
設備費五万円は本年度那古小學校が十八万
洲の嶺の分校が四万円補助対象になりその
二分の一を国庫補助として交付されるのであり

ますが当初予算に二十万円を廻んであります。不足額の二万円を計上したわけでございます。

扶助費として六千三百円の追加ですが、準要保護児童の給食費と、要保護及び準要保護児童の医療費。これは当初予算に計上したのでございしますが、それの内定した額が増額されましたので、それにとりまして、差額を上げたわけですね。教科書購入費を七万二千六百円減額してございしますが、当初予算におきまして、国庫の負担金と増額分を廻るのであります。市費負担四分の一以上となつておりますので、最小限度でとめましたので、七万二千六百円をうかしたわけですね。

それから、要保護及び準要保護児童修学旅行扶助費です。本年、度新しく、国庫補助の対象になりました。

ものでございます。やはりこれも二分の一は補助の
対象になっております。

中学校費にあつまして六十六万八千六百円追加いた
しました。学校器具費として二十万円は支入にござい
ますが、二中のビ丁ノの購入費付金として受け入れた
ものをそのまゝのせにわけますが、ビ丁ノ代金は三十六
万五千円でございます。不足の十六万五千円は当
初予算に廻んであります。器具費から充當しました。
教材費の十二万四千三百円は小学校費と同じよう
に教材費額が増額されましたための額です。

扶助費として四万四千三百円は小学校費と同じよう
な追加です。営繕費で三十万円はオ一中学校の
機械工作室増築工事費として十五万円、一中は産
業教育の指定校になっておりますが、工作室があり

ませんので十五坪を増築するわけですが、新築ではな
かゝでまないので古校を作つて建築しようとする
ものでございます。豊寿中学校も同じ産業教育
の指定校になつておりますが、工作室があります。模
様替して機械工作室に当て更に産業教育に必要な
器具をふくため農具小屋の増築十五坪五坪を両方で工
室模様替えと七万円、農具小屋を八坪で八万円、
高等学校費十九万二千円追加しました。図書設
備として五万円、理科教育の設備費として十四万円
が国庫補助の内定になりましたのでそれにとものう
負担分をございます。財産を学校器具費から更
正したわけです。

公民館費で十二万円追加しました。これは婦人会館の
中に炊事場がありますので現在結構式等あります。

した場合、いふんは炊きだしを外でや、てゐるんです
が雨が降、た時には外でやれませんかので炊事場を作
る費用でかまど等工事費として四万円、系材料費と
して八万円を廻りました。が教育委員会に大工がひり
ますので材料だけを廻んだわけです。炊事場は
二坪＝合五勺で渡り廊下を入れました。六万円、
そ、ど料理ができました。時に二階にエグるリフト
があるのです。が現在設備不備のため使、てお
りませんので二万円を計上して有知に使用しよう
とするものゝす。

体育費で報償費から食料費の、すへ一万円更正し
ました。が来月四回に行われます。果体の選手、食料費
です。参加人員は八三名、一人二百円、りりますの
で二万二千六百円当初予算、食料費で不足した

ので更正したわけです。

○福祉事務所長(長谷川 広治君)八款の社会及び労働施設費について説明申し上げます。

福祉事務所関係で二十六万三千円余り追加です。主なものは十二項の国民年金の取扱費でございます。ご承知の通り九月一日から申請をうけつけておりましてその関係の費用でございます。

二の吏員給五の職員手当は係のもの、人件費です。旅費として一万一千円は本年案りの方でございます。この部落に私どもでまして出張調査あるいは受けつけをするという関係から一万一千円を計上しました。需要費の九の賃金は恒時的な雑務が多いのでその為の用人料でございます。一、一四、一六、二四につき

ましては年金事務の何うセヶ月間に所要します。

費用を計上いたしました。

三項の児童福祉につま

まして五万円計上いたしました。

これは手をつな

ぐ親の今におままして一昨年和恵のおくれた子供
を集めました補導と要しますか、館山学園を経営
してあります。が財政的に非常に困難でございます
のでこの範囲内におまして若干の補助をいたし
たいと考えた次第でございます。

恐縮ですが一枚めぐりまして一五の諸支出金とし
て過年度支出金で四万七千八百八十四円を計上し
ました、これはここに書いてあります通り、国庫

補助金の返納ですが、義手義足の修理も工場の関
係から三十三年度でまだ合わないから、為に三十三
年度分として過年度収入をいたす予定で、そ

のような関係から四万七千八百八十四円を過年度
支出金として計上しました。

厚生課長(神作啓次郎君)九款の保健衛生費三目需用費
の委託料ですばこれは赤痢患者がっじう九名発
生した為不足を生じたのでなほ今後三名程度
発生を想定しまして九万二千円をお願いいたしました
のでございます。

商工水産課長(羽山房雄君)十款の産業経済費水産費
について説明いたします。

二目の漁港維持費で工事請負費二十九万二千円を
願いました。この内訳はございます。香瀬

港の防波堤新設工事費として十八万五千円、洲
崎漁港荷揚場災害復旧工事費十万七千円を
願いましたわけです。香の漁港工事と申し上げますと

場所は大体船揚場の北東に位置しまして長さ三メートル平均干潮面が二メートルの高さの堤防を作
るわけです。なお洲ノ崎漁港船揚場の災害で
すが北側の物揚場の上がりといえます、その量は
二百四十八、五ヘーバー大体七メートルの三十七メートル
位の補修でなるこの支出につきまして地元負担金
香濃港の堤防の新設費は三分の二程度が支入に担
いでございますが洲の崎漁港の災害の分が五割の地元
負担金と納めてございます。

農産統計課長(岩崎一郎君)カーニ統計調査費につまづ説
明^{代理}甲し上げます。

今回は統計調査員報酬ならいに需要費二万七千二百円
計上したわけでございます。

報酬といえしまして一万七千円は本年度^全国消

費実態を行いますのです。わちこれは収入のあるいは支出のういゝたものを一般世帯を抽出しまして調査するわけでございます。家計の調査でございます。内閣府統計局が主管となるわけです。

三十四年九月から十一月までの三ヶ月間実施されるわけでございます。本期は三十世帯指定になつたわけです。その関係で十世帯に一名の調査員合せ

まして一万七千四百、報償費として三十世帯の実態調査を行います。一世帯に対して三百円合せて九千円です。その他消防品あるいは今議の食料費、需要費として一万円追加したわけです。以上でございます。

の選管書記長（渡辺 茂）君一三款送挙費について申し上げて申す。

二項選挙啓発費ニ万五千三十円追加しました。バ
この十一月から明年の三月まで実施をいたします。話
し合い運動に要する分としてこの財源は市会議員
の選挙費の使用残高と計上いたしました。
四項の果会議員の選挙費ですがこれは果から委託
金で大千百八十円追加で参りましたので市に用紙
の切断機がございせんので現在安全カハソリの
刃で切っておりましてこれを買いまして総務課
へ保管をお願いして印刷等の事務の能率を上げ
たいと考えて一万四千七百四十円計上したわけであ
す。五の市会議員選挙費では十四節の印刷製本費は
果のおで投票用紙とかそういうものを印刷してく
れましたのでその不足額を三千八百九十円計上した
ものでございます。以上です。

。総務課長宛　貴君カーセ款予備費につぎましてご説明申し上げます。

予備費は当初予算で三百万円計上したのでございませう。その内八十万余円を便しまして現在二百十七万余円残っております。今回、更正財源としまして三十七万七千九百二十六円使用しようとするものでございます。以上を合算計百九十二万七千六百二十九円になります。

次に支入について概要ご説明申し上げます。一番始めのページが六款の使用料及び手数料としてまして五十二万九千六百円計上してございます。この内才九目の婦人会館使用料として六万円計上してございますが八月末まで婦人会館の使用料が五万八千四百円便っております。年間十一万円

余り収入ある見込みでありますので今回その差額六万円を計上いたしましたのでございます。

オ三項の内オ一節の収入証紙収入として四十六万九千六百円計上しました。これは福祉年金最低申請書類、謄抄本と住民票の謄本の代ですが謄抄本が三千八百四十枚として十五万三千六百円住民票の謄本が七千九百枚として三十一万六千円を計上したものでございます。

オ七款国庫支出金として八十三万四千三百七十五円計上いたしました。このオ一節秋枚費負担金ですが従来小学校が一人当り二百円でしたのが三百五十円に増額になりましたのでこの差額分も十四万二千五百円計上したのでございます。オ二節の学校図書館整備負担金の五万二千円は館

山高等学校の図書館整備に対する国庫負担
 金でございます。オニ項の国庫補助金のうち
 オニ節の理科教育設備費補助金十五万円計上
 しました。那古小に対する分が九万円、洲ノ
 崎分校に対する分が二万円、豊后中学校の
 分が十万円、館山高等学校に対する分が十
 四万円と内定になりまして当初予定に対して
 内定になった分を計上いたしましたものでござい
 ます。オ六節の修学旅行補助費として四百八十
 万円計上してございます。小学校の児童一人に
 対して二百二十円で五十八人分一万一千三百
 五十円、中学校
 一人の生徒に対して八百十円で四十四人分
 三万五千六百五十円を計上したものでござい
 ます。オ七節の
 教育長給与費補助金として十八万三千七百
 十五円

計上してございます。これは年額拾五丁四万九千二百二十五円に對する三分の一の補助額を計上いたしましたものでございます。オ三項の委託金の内オ一節国民年金事務委託金として十九万七千五百円計上いたしました。これは国民年金事務取扱件数が三千九百五十件あると予定しまして一件五十円で、すのでこの事務委託金を計上したものでございます。オ八款の果実金は一万一千百八十円です。これはいづれもそのレの研究補助金その他でございます。

オ九款果実金は四十四万八千五百円です。このうちオ一節の教育費果実金の二十七万円は二中のピアノ購入費は三十六万五千円を要します。す。このうち二十万果実金にございますので計

上いゝしゝものゝでいゝす。

畑小学校のテレ

びの購入費は六万円ですがそのうち地元寄付け金一万円ございますので計上いたしました。

婦人会館の炊事場の増築費は十二万円を要します。すばこのうち二分の一婦人会から寄付けでございます。すつで六万円計上しまして合計二十七万円と致します。

次は水産費寄付け金であります。これは支出の面におきまして先程関係課長から説明がございましたので内容は省略いたします。

オ丁ニ款の雑収入は十一万三千九百七十四円計上いたしてございます。このうち過年交收入としま

して三十三年分の生活保護費の精算による国庫国庫支出金の不足額が十四万二千四百六十八円に

ります。すばこの十分の八が収入になりますので計上
いたしたものでございります。

以上を入合計百九十三万七千六百二十九円になります。
す、^{オ入}又差引をまし残はしというふうになります。
す。

(テープ取換えのため録音でござす)

〇三三番(山口幸三君)それからもうそれとせがれに名義と換
えると格局所得税五千円が控除されるんですか
な、控除されて支給されるのは七千五百円程度
だということにさびてしまふ。なんだか實際
ともなわない、いわばようりやうのいい案という
ことが全国的に批判されておるが先程市長今議
と、議長今議と、いわれたがそういう場合に政
府に最近議長、市長よりは實際の地方の現状を

政府に進言したのかしないのかそれと一つ言いつて終了といえます。

。福祉事務所長（長谷川 忠右衛門）お答えいたします。

本人が働かないで所得者という名前だけで国民福祉年金を老令福祉年金をもらえるかどうか、とこういふご質問のようでご質問ですが現在の規定の上からはそのような場合には本年度分だけもらえないことになります。それはなぜかと申し上げます。という一な理由があるらしいんですが私どもの仕事としてはその仕事を単に受けつけあるいは内申を取扱うだけで県の申請体系ということになります。法律の上からいってそのような場合にはその年の分だけもらえない、翌年名前を変えればその年の分はもらえることになります。それから二項

市 長 今 の 問 題 で な く て こ の こ と は ……

○七 番 (山 本 昇 君 教 育 費 に つ き ま し て 教 育 長 さ ん に お 尋 わ し ま す。

小 学 校 費 と 中 学 校 費 の 扶 助 費 の 問 題 で す が 基 本 要 保 護
 児 童 の 給 食 扶 助 費 教 科 書 購 入 扶 助 費 そ れ か ら
 修 学 旅 行 の 扶 助 費 と 特 に 給 食 の 問 題 修 学 旅
 行 の 問 題 と し ま し て お 尋 わ し な お 同 い く 先 程 課 長
 さ ん の 説 明 で す と 小 学 校 が 二 百 円 中 学 校 が 八 百 十 円
 い う 数 字 を ま し ま し て そ の 程 度 で ま わ め て 額 が 少 な
 い ん で 人 員 も ほ と ん ど 少 な い よ う で す が 追 加 の 分 で あ
 る て 全 部 い ゃ ない と 思 い ま す が 現 在 市 に お い て 市 の 小
 学 校 中 学 校 に お い て こ う し た 扶 助 を 受 け る 児 童 が
 何 名 あ る か の と つ き ま し て お し ゑ て い る ま い そ れ
 か ら 更 に 給 食 の 扶 助 費 の 問 題 に 関 係 し ま し て 一 つ

お尋ねしたいことがあるんですがそれは牛乳の
問題であります。五月牛乳を現行実施してあり
ます。何かある一定の児童の在校生の何%か、そ
れをとればそれに對して国庫の補助がある、児童
は一本について四月とかといつてあります。更に果
て牛乳の値段が八月五十銭とか三十銭とかで、それ
を結局四月補助があるんで四月とか五月とか、補
助がある。てあとは三月くらい児童が負担、一本に
つぎ一月二十銭とか三十銭とかの利益があるとい
うことだ、この金だのように使われてゐるか、一
本にっつぎ一月に十銭ではないか、これはあります。
んけれども千本とか千五百本とかとりまうすと柳
さん顔にうります。どういふ状況で使われてい
るか、国だの位補助するか、それについて現行

館山市内小中学校で何本ぐらいこの牛乳をやつてゐるか、そのほかにもそういふ金でどのようなに使われるか、その点とつておわかりでしやうかしやうて下さい。

○庶務課長(鶴沢貫資君) 答えいいたします。

初めに牛乳の給食のことですがそれは直接教育委員会がတာ子してゐないから、しかし一応話は置いておるのでございします。が学校側の方の關係で農産統計課の方との關係になつておりますが、現在実施してゐるところが北条小學校と二中と館山高校の夜間校とこの三校です。人員は大体三千名、有志といつても大体はうけていゝんじやないかと思ひます。が、きりしゑことはまだ調査してございしません。が差額の問題ですが北条小學校なんかで申

しますとやはり準要保護のようは家庭があります
すんで学校としてそういう子供にもある程交拾食
してやりたいという考えからその令として比較的
中級以上の家庭からはある程度の額をとつ
てあるというようなことを言ひてあります。

今おっしゃいましたような一月いくらかの使用の詳
細については私の方ではそういうふうな言ひてある
わけですがたしかなことはたしかめてございません。
それかうほの拾食、教科書等の核当ですばそれ
は拾食の方は準要保護児童だけでございます
が修学旅行や医療費は要保護児童と準要保
護児童と両方へ援助があるわけですよ。援助の
人数は国の方から県の方から館山で総額の割当て
が参りました。その程交で救療してあるわけではし

て本来ですと趣旨を生かしてやればも、と準要保護児童としてはうるおうわけですが現在館山においてでは国で指定したわけしかやっておりません。

○七番(山本 昇君)扶助費の問題につきましてわろました牛乳問題で教育委員会では直接具体的に扱っているところ指導してないと、かようなお答えであります。内容がすねどこでたといえばなんが文部省の補助になっているか厚生省のうかそ、ちの方の(雑音多く聴取不能)……という関係でどちらが主体になっているのか、更に一本についてどの位の補助金があるのか。もう一つは新聞紙上で見れんでは、さう確認したわけではないんですけれどもその後についてみると新聞の発表の通りであって市内の業者でなく遠くの鴨川方面から買っている。

かように書いてあるんですけれども市内の業者
がでないで鴨川の業者にやると、何かそこに
私納得がないんですけれどもちろん業者としては
そういうことはないと思います。間違ひのないこ
と、思います。すべからず遠いところから運賃を
かけてやる、しかも近くの市内の業者がそれを
きないと、そこで私市内の業者にきいたところ
ばかり採算にならないという言葉を書いてあるん
です。配達のない市内の業者が採算のあわない仕
事を、^{わざ}遠くから運賃をかけてこ、ええとやっ
てある、何かそこにある。私ちよ、と思ひすぎか
もわづりませんけれどもあるいは牛乳をうすめたり
なんとしてやるということがあつたらせ、かくの子供
に対する給食がわるいといふ、ちやあ語弊があります

ばうすい牛乳をのませることによつてかえつて子供
 の健康保持の上にまづい結果になる いうことも
 考えまするとどのような指導をされる考えか、な
 お市内の仲間業者で学校でなく一般の十月牛
 乳を主張してゐるということさえもつたえられて
 あります。それと関連しまして一般にそういう
 安い牛乳を配給しようという意欲がある市内業
 者があるにもかゝらず遠くからも、てくるとい
 うも私何かつちと合点がいかないのです。そうい
 った点につままして何か委員会の方でお氣はさ
 りの点があるいは考える点がありましたら後でさ
 かりしていただきたいと思います。

。庶務課長(鶴沢貫賞君)この牛乳の補助金は農林省の
 関係でございます。それから今鴨川からも、てく

るということです。実は館山の業者がやってお
ったのです。が補助金やなんかはおくれりする
ので到底やられないということ。でことわられまし
たので鴨川から入れることになったのです。が鴨川の
業者もある程度犠牲的にやってくれるというい
とをきいてあります。市内の酪農業者の組合
が近くまでできておらないのです。がこれができ
ることになれば鴨川から入れる牛乳を市内の酪農
組合でやってくれるということになってあります。
(「それかう一本につきどの位の補助がありますか」と
呼ぶ者あり) 三月五十元でございます。

の七番(山本 昇君) 私がきいた範囲では一本につき五月
ときいたのです。がそして一本につき一月二十元か三
十元の準備金があるということ。をきいておるので

飯山一日千本とするとすると千二百円から三百円の
 とにかく準備金でまるといふことをきいてある
 のですが、そうすると今課長さんがおっしゃる通り
 け、まよく生活に困る子供があつてその子供にの
 ませてやりたいという考えからやるということは誠
 心あるわしく結構だと思ひますが、しかしながら一
 日に千二百円から千三百円で三十日はやれませんが
 二十日やつたとしてとにかく一日千三百円とふんで二
 万五、六千円の純益がある、あと学校ではそれによ
 つて一人のいわゆる教員でない事務職員を使いたい
 というようなことも私きいたのです。が、そういつた
 ことに使つていふのか、児童の頭をはねて、そういつ
 たことをやつていふのか、ということも考へてみ
 なくちゃいけない、行政運営において、はたしてそれ

が女当であるかということも考えなくちゃいけない
と思いますすがそういって、たことについて委員長と
して何か今後そういって、た面についての指導とい
、ますか考えがあるかその点も合せて一つご意
見を。

。教育長（工藤和平君）た、今の話につまましてまだ委
員会に正確に入って取りませんが一応調査しそ—
まして（了解）と呼ぶ者あり）

。一六番吉田勇治郎君）産業経済費についてお尋ねします。
まず、湊港についてこれとオ一湊港オ二湊港オ三
湊港オ四湊港こういって、た四種類の湊港を館山市
は有しておいて、たえに維持管理には非常な地元
のお苦勞がありまして大任を守って取りかつ産業
の発展に寄付していることでもありますすが、た

補助率についてまだ納得のいかない点があります
 のでこの四種類の工事をやる場合にどういふふうな
 率でもってやっているか、その点をもう少し明示して
 いただきたいと思います。

○商工水産課長(羽山房雄君) 答えいたします。

私も商工水産で担当しております。漁港はオ一種漁
 港で市内でそれ以外のオ三種オ二種漁港そういうも
 のは大体果管理の漁港に比べておりますのでオ一種
 漁港のうち今回の負担金いわゆる地元負担金の正し
 いか、こういうことは災害の場合と新設の場合がありま
 して差がついたわけですが新設は一件これは洲ノ崎
 漁港の防波堤を新設した当時地元負担金いわゆる
 負担金が三分の二ありましたのでその前例にな
 ら、て地元と話し合いました。香瀬港漁業協同組

合で了承されました。果に寄付申しいでになり
ましたので、工事も施行いたしたく計上したわけで
ございます。なお災害復旧につまましてはやはり
これらも前例にならしまして五割の市費負担
地五割の寄付という線で行いました。以上
でございます。

○大番(吉田勇治郎君) 今課長さんは商工法について
の港について、たのですが市がいくら出して工事す
る、果がいくら出して工事する、国がいくら出して
工事するということについて私はわからないならば
これは一応了とするものであるがいやしくも水
産に対しては水産課の課長であるといふ合、一種
漁港のオの比率ならわかるけれども二種三種につ
いてはわかりません。なおまた館山港は商工と

いえども産業特に商工は名ばかりで実質的にはい
 かなる水産のための水産漁港であるか、やはり
 国がいくらだして果がいくらだす、市がいくらだす、
 地えがいくらだす、その比率がわかうないというこ
 とは何かこれ以上質問してもつまらない感じがす
 るんですがこの奥課長さんどう考えるか、課長
 がわかうなか、たならば市長でもよし助役でも
 よし答弁するのが当然だと思ひますがいずれこ
 うなってくると思ひますまず課長さんの考え
 をお伺ひつゝ、まず、私の言ひておらんとすると
 ころは地えと相談してやれば金がかゝつてもよろし
 い、一応大は大小は小なりの負担率を平等にせして
 同い館山市民であるがゆえに甲の漁港を改修す
 る上に乙とえば五割^{地え}の負担金~~を~~に對する五割

の補助をしたならば乙の澳港もやはり五割というよう
うに一つの基準をもつて私はやるべきだと思ふ、こ
れが一種澳港だから地元と初談して二割、三種澳
港だから地元と初談して地元負担金は五割が市が
持つ、同じ災害にあつて施設工事費を地元で、そ
ういう私は計数的に今ご説明してそのあり方を資
料は持つていませんが当局としては当然資料をお
もちのこと、私は思う、ゆえに事情をきいたので
あります。その資料がでてこないということになりま
すと秋々これ氷上まいてもわかるまではないのであ
るがしかし、で知らないということとは私は問題に
ならんと思ふ、しらないばしらないで市長なり町
長なりあるいは総務課長なりが立つてご説明願う
まがどういうわけで三種の場合は地元でもつて負担

金、百万円の場合、五十万市が、五割の補助を
 ず、その新設事業の災害ではないと一種、漁港
 は、どうして新設工事とやるのに、二割に限定されな
 く、ちやうどないか、当然これは平等に扱ってしま
 べし、だと思ふ、大きい漁港は、大きい漁港のよう
 に、収入も、大きいし、産業も、大きい、客も、存
 していること、は、あ
 る、小さい漁港は、小さい漁港なりに、その分、あ
 り、たところの産業を、済に、客も、多し、いて、い
 るところ、がある、平等に、客に、して、いて、思
 へ、法の見解から、して、どう
 して、平等に、しないか、私、う、が、考、え、る、場
 合、に、こ、れ、は、い、つ
 な、あ、す、意、志、が、あ、る、か、そ、う、い、う、点、に、つ
 いて、改、め、て、預
 問、を、行、い、ま、す。

。商工水産課長（羽山房雄君）ご指摘の通りは、ま
 り、し、ま、せ、ん
 で、申、し、け、な、い、と、思、つ、て、あ、り、ま、す。あ、ま、り、正、確、で

ない数字とい、ますか。五三、二、かあるいは文、二、二
か最近かわ、たようにきいて取りましてよくは、ま
りあばえていないんで答弁しないんです。建設課
長さん……。

○建設課長（新井重助君）負担率についてお答えいたします。
渚港の新築は大体二種と三種ですがこの新築工
事は国が五割負担いたします。あとの五割は県
と市が半々二割五分ずつ。港湾の修築工事は国
が四割、五割ございます。残りの五割を半々ずつ県
と市が負担することになっております。その外
果単独の事業は五割ずつ県が五割市が五割
と伺っております。以上。

○一六番（吉田勇治郎君）くま、てお尋ねします。
国の場合はパーセンテージはわかりました。その市

の負担された果と市が折半になつた市の金とどうやうて支払つてありますか、この点についていふとつ。建設課長(新井重助君)市の負担いたします地元負担分です。ね、その内の三分の一を地元からいふいてあります。

渕港新築については三分の一港灣修築については特に館山は渕港は商工のなかに一部分を占めてありますので現在の寄付者は現協担合が一人で担当してあるという実状でございますので五分の一をいふことになつてあります。以上でございます。

一六番(吉田勇治郎君)今説明がありました通りの内容客であるとしたらならば市長さん、これはどういふふうにか考へているか、この点についてご答弁願いたい。

市長(田村利男君)一種渕港は市の管理になつたのはおそ

らく三年前か二年前だったと思います。

この席上で各漁業組合長さんが集まって県の指令で市がいま、で漁業組合長が管理者であつたが形式上市長が管理者になつてもらいたいと、そういう県の条文と申しますか財政経費一切については県は従来通り支給するから市は直接関係しなくてもいい、から管理だけを市長が印こうとふしてもらいたい、こういうような話し合ひでもっと県体的に言えば市が管理することによって負担がからなければいい、ということとで管理者、私の代はなつてなつたわけでございます。そういうわけでありますのでいろんな費用の分担負担というのを従来通りのやり方で今日までなつたわけでございます。そういうわけでありましてそこに二種漁

港三種漁港より若干不利益というような事実は
事実認められるのをきいてあります。が今後十分に
研究いたしまして一般市民として甲乙ないようにな
るだけ努力したい、こう考えてあります。

○一六番吉田勇治郎君 いろいろと市長さんも現状を把握され
てぜひ今のような趣旨がしつかり次のこういったことが
できるのではないかわかりませんが、^{後で}た場合にはぜひ今の
趣旨にそうてやっていたいくことをお願いいたします。
それからいつてしまつて^{後で}あが足をとるような形にするが
そういう意味でなく、ひとつ市長さんも仕事が大
まいだろうから教が大きいだろうから末端まで何も
かも知っているとはいひ、ませんが私らの知っている
ことと結構でその意味で答弁を、それは一種
漁港を、館山市がかうと、私たちが市令にでてる

大時にたま／＼あの時は市町村管理者と廻合長
でもい、という主幹かうしてほとんども漢荒は廻合長
が管理してあつたのであります、それでは改修す
るにも非常に経費がかかるかと市に移管するのが本
来だという点で動きだしたのは事実であります。
だけれどしそれと期を同じやうして法の改訂があ
つたのであります。この点と好まざるとによつて
当然市町村長は管理者にならなければならぬとい
う。そののところをお忘れなくせん今の答弁
に従つて今後はつゞきでてくるかういう事態に対
しては市長さんの今の答弁が實つて現われること
を信じさせていたいて了解いたします。
よろしく今後の処置をお願いいたします。

二一 番(田中 禄郎 君)お伺いいたします。

田中 禄郎 君

今度中等学校へ産業教育というものをさへ入れると
いうことになって取りますがおー中学校、豊房中
学校、農業教育の指定校になりまして十五万
で作業場を作りなるといふこととございますが
中味でございますね、機械器具類 どういうおつ
もりでございますか、それとひとつおーに伺いし
ます。

それから各中学校文つでございます。が今後この中
学校に対して産業教育の教室と産業教育の
機械器具などのようにしておそろえになりま
すか。またそれについて国庫の補助があるのか、県の補
助があるのか、また起債によつてやるものかそれ
とひとつ伺いたいと思ひます。

。教育長（工藤和平君）お答えいたします。

産業教育の教育課程が来年度から変更になりました
して技術家庭課ということになるのでございま
す。その設備につきまして最近教育委員会では各
現場の中学校に用紙を配りまして、現有の資材
機械器具それから文部省の定めるところの基準
の額との差を算してみたのであります。そういたし
ますと学校によってあのく違ひますけれども大
体九百万円ぐらいの不足を生じたことが発見され
ましたのでこれは一ヶ年で十分充足することとはとて
も不可能です。ので年次計画によって逐次充足し
ていくと、かような考えであります。なお文部省
にございましてこれに対する若干の補助はございま
す。

○二番(田中禄郎君) 指定校になりました豊房中学校、機

械器具類が現在あるわけなんです。そろってあり
ますでしょうか。(ごまかしていますと呼ぶ者あり) それから
もう一つ伺いますが一五号台風がございまして
多分校舎の被害とかくずれたとかいうことば恐ら
く各学校のうきまてると思いますすがその対策につ
いて何かございましたら、多分お考えがふあんな
らうと思いますすが、お伺いします。

。庶務課長(鶴沢貴賢君)お答えいたします。

一五号台風はあかげさまともちまして、当地方はそ
うなしいた被害はございせん。今まで判明し
ておりますところはカワラとある程交飛はされた
リトイが飛んだりしている程度でございまして
まだくわしい調査はしておりませんが、大体三万回
程度あったらば、という軽微のものです。

〇一番(田中祿郎君)は市長さんにお伺いします。

予算をみますと、館山二中のビアノの購入とか、煙
小学校のテレビの購入、婦人会館の炊事場増築
というのは各地区に全額、一部負担をしまして作
っております。

私の方といえまして、現在(発音
不明瞭につき聴取不能)しくような形にござりますて
やはりあつたのです。実は青年学級の裁縫室が
もうないわけなんです。これは去年の三月ごろから教
育委員会にお願ひしてあるわけなんです。それが
大体十五坪をございました。それをもつて、校舎と
して建てました。ならば裁縫室はまたあうのであり
ます。現在は子供の柔道室でもって裁縫をやら
せまして子供が柔道をやるときにござりますとだけ
るというわけで非常に針なんかおちている状

心配もありますし子供の危険も感じるわけなんです
すがけ、きよく村で相談しましたところによりま
す。子供のためだから市に寄付しようじゃない
かと主張な建物なんではございます。それを市で

もってとっていったらけるか、とっていったらけるしま
したら地えで全部奉仕はするかうということにな
ってあります。市長さんの考えでそれを寄付し
ましたら移転していったらけますか、いらないか
のこの答弁を願いたい。恐らくこのあいだの
運動会の時にP、T、A、の会長さんからも話
しがあるかと聞きます。

・市長(田村利男君)それにはその話はいけなまわりまし
たがすべて一切教育委員会におまかせしてあり
ますので教育委員会が適当に良い処置をする

と。

。二番(田中祿郎君)これは今はいいまゝ、話にはありませんで去年の三月から騒いでありますので名をだして申し訳りないのであります。中々丁ノ当りは今年当初予算に廻んでありますし私の方は去年の三月から教育委員会一話してあるわけなんです。

いふもや、ぱり田舎の方が馬鹿にされてありますのぢー(笑声)……どうも田舎の子供もやはり同じ市民、日本国民でありますので等分にはおいていっていいまいと思ひます。これとモッ

て私の質問は終ります。

。三番(山口幸三君)実はこれは議事外であるので急ぎをも用する問題で動議として提出したいと思ひます。

それは今小中学校で運動会をやっておりますが敬老
 会の招待状が非常な混雑をして、きているので
 あります。その対策を考へていて、いろいろ
 採択とはかゝてくたさう。

○議長(萩生田七郎君)緊急質問ですが(答へ)から発言してい、
 かわるいは、議事外になるから議事にかうんでもい、
 が議事外といわれるといけないうちと呼ぶ者あ
 り。今三三番議員の発言を承認するに、ご異議ござい
 ませんか。

○二一番(飯田義男君)これをや、てしま、てからではうず
 いですか。(い、い、い)と呼ぶ者あり。

○二番(黒川佐太郎君)ちよ、と田舎の子供について……(雑音多
 く聴取不能)教育長の説明で九百万も不足するとい
 うのですがお調べにな。な結果その差があるかど

うか、たとえば市街地、一中、二中は充実してあるが僻地の方は充実してないという傾向がみられるや否やお尋ねします。

。教育長(工藤和平君)今のご質問に詳細につきましても即答できませんのでございます。

と申し上げますのは学校の規模によつておのずから機械の数も違ひますし又生徒一人ついてどのくらい施設が必要だということも調べておりませんのではつきりしたことは申し上げられませんが恐らく都市の中心部と郡部に於いて著しい差はなかりかと。

。二番(黒川佐太郎君)そこでもちろん産業とか理科教育の振興は重要な問題でありますので今後こういう部門をとして、として私が今申し上げましたことをお考

えの上 甲乙のよいように充実にいくということとを
「お願ひします」

○七番(山本 昇 君) 先程ちょっとお伺ひしようと思つてお
としまんりすば私の不勉強で二つ三つさういうことを
さへたんで社会労働施設でこれは長谷川所長さんが
説明していらっしゃる多分議員の中で知つていらっしゃると思
ひますすば知つていない方もあると思ひますす
で需要費の手をつなぐ親の今の補助金の五万円
ですば先程所長さんの説明によりますと非常に気の
毒なる子供達ばかりが一緒のところは收容されて
やつてあるという話ですが私もはじめでそれさ
いへような次で本當に申し訳りないと思つてお
りますすがそれはどういう形でいつ頃からどこで何人
ういの生徒がどのようになつてやつてゐるのか、ひと

参考に載えていたまい。

。福祉事務所長（長谷川広右衛門）お答え申し上げます。

手をつなぐ親の今と申し上げますのは一昨年の八月に
設立されました大休知恵のおくれた子供、それから
小児までとかでなく体に不自由な関係の子供、そ
ういう子供まんを持った親たちを集り作ったも
のが手をつなぐ親の今で、その内特に知恵のおく
れて小学校にもうけとられることができない、こ
ういふ程度の子供まんを現在八人ばかり集めま
してそこで補導教育と申し上げますが、学校のかまな
ものときういふ程度のものを認識してあります。
それは昨年の四月に南院へなしまして三福寺の
もとの安斎幼稚園のあとを借家しましてそこに
現在についてあります。

月謝は一人大体二百円として取ります。そのほか、遠くからきます交通費をみますと千円ぐらい程交
こういうことになって取ります。

○七番(山本 昇 君)その主催者はどこでやっておるのですか。(「私達の親の会」でやっておりますと呼ぶ者あり)
自分達の会でございますね。

○議長(萩生田七郎君)はい、質問ございません。

(「異議なしと呼ぶ者あり」)

○議長(萩生田七郎君)お諮り申します。

議案六三号 桑案通り可決することへ、異議ございませんか。

(「異議なしと呼ぶ者あり」)

○議長(萩生田七郎君)異議ないと認めます。

よって桑案通り決定いたしました。

しばらく休憩いたします。

四時十分休憩

四時二十分再会

議長（萩生田七郎君）休憩前に引続き開議を伺います。

日程オ大議案オ大一号 同いく大二号一括議題といえます。

（書記朗読）

議案オ大一号 土地の買収について

大二号 土地の売却について

建設課長（新井重助君）大一号大二号議案をご説明申し上げます。

本議案につきまして先程で説明申し上げました。今一度で説明申し上げます。

大一号議案のうらに図面がございしますがこの斜線の部分で今回買収する分でございす。この買収に当りまして富士デューセルの中に従来ありました工業地、今は市有地になっておりますがこれを松下げてもらいたいという要望がございましたので大二号議案の裏の図面にございすが構内に細長く番地ついで示してございす。それが昔道路でございまして二千七百七十坪以上ございす。これを松下げてもうとうということとで話さばとまりまして今回本件がとまり次第工事事を着工したいと思ひまして本案を提出した次第でございます。

なれとぞよろしくお願いします。

○議長(萩生田七郎君)お諮り申し上げます。

日程才大議案才六一号同じく六一号系案通り
決定することへご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(萩生田七郎君)ご異議ないと認めます。

よって兩案は系案通り決定いたしました。

たゞ今市長より今日の議事に議案才六四号收
入役選任の議案が送付されました。

お諮りいたします。議案才六四号を今日の日

程に追加したちに議題とすることへご異議
ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(萩生田七郎君)ご異議なしと認めます。

よって日程は追加されました。

それぞれに議案を配布します。

(議案配布)

議長(萩生田七郎君)議案の配布もればございませんか。

(書記朗読)

議案オ大四号 収入役の選任について

。助役(小出武男君)議案オ大四号についてご説明申し上げます。

本件は収入役選任についてでございます。長一岡
尺員でありました収入役もこのたび選任いたしました
て正しい体制を整えたいと考えましていろいろ選考
した結果、兎戸貴を最適任と認めまして皆さん
のご同意をいただくと、本案を提出した次で
ございます。

よろしくご同意をお願いいたします。

議長(萩生田七郎君)お諮りいたします。

議案才六四号収入役選任について原案通り可決するものとご異議ございませんか。

(「異議なしと呼ぶ者あり」)

議長(萩生田七郎君)ご異議ないものと認めます。
よって決定いたしました。

市長(田村利男君)どうも収入役の選任についてご承認下さいます。ありがとうございます。

なお完戸君へうごあいさつを。

議長(萩生田七郎君)ただ今完戸収入役よりごあいさつ
いたします。

(完戸 貴君登壇)(拍手)

の將補課長（完戸
収入役

貴君一言であつても申し上げます。

このたび市長さんのご推選によりまして当議令各位のご同意を賜わりまして収入役の選任の榮を得たことを厚くお礼申し上げります。

浅学非才の私が収入役という大任を肩うとは夢にも思わなかつたのでございます。へえり

みますと三十四年の間更員の一人としてまして市政市民のために奉仕をしておつたのでございませう。収入役はまた一般の更員とは違ふ任務を有するものでございましてその責任の重大さを痛感する次第でございます。

当今市の財政もようやくにして好調になつて参りました。その内容をつぶさに検討いたしますとまあいろいろ困難な處を含んでゐるようで

ございます。

この困難な要素をほうとうしてお

す。

財政を円滑滑に運営して参りますには

どうしても各位のご便捷とご指導によらなければ

なし得ないのでございます。

また私総務課長とし

て在職いたしておりまして間は大変な過ちもなく

どうかその職席を果さしていただきたくござ

います。これは全く皆様方のご同情あるご支援

の賜ものと深くお礼を申し上げる次第でございま

す。

収入税の発令になりました。税にはその任をはずか

しめないよう全力を尽して職務に努力する覚悟

でございます。よろしくご指導ご便捷の程お願

いいたしますとぞんじます。

簡単でございますが一言申し上げましてござい

つといたします。(拍手)

議長(萩生田七郎君)先程三十三番議員からの緊急質問
がありました。

それと認めることにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(萩生田七郎君)異議ないと認めます。

よってこれを認めました。

〇三十三番(山口幸三君)急呈を要する動議としてはな
あ、げまなことでございしますがそういう形さというな
いと採択にならないと思うので大げまに言ったので
あります。

実は富崎小学校運動会の敬老会の招待状であり
ます。が十月四日にやるのが差出人とい、ますかね。
北条小学校の和泉校長でござしてある、いわば

北条の八幡の者が富崎小学校へまたそのまた校長が富崎の校長にあらずして北条小学校の校長の名前にしておるがそういうのがたくさんまじってゐておるがわづ／＼承知で八幡の年寄りをあちまで呼んでいゝのかおまゝしなさい。たしかそうなればあべこべに北条の運動会を富崎の校長あたりの名前ですてとんでもないごた／＼になるのだがちょっとおまゝします。

○福祉事務所長(長谷川 広右君)お答え申します。

一部にそういうことがございまして誠に申しわけないと考えています。印刷所の原稿の誤りで若干富崎と北条のものが一っしよになつたものがございまして私が私どものわかる範囲で現在回収をしていまして誠に恐縮でございします。

○三三番(山口幸三君)僕は現在八幡の連合已長という立場だええ、連絡事務をとって僕もや、と配布しちゃった。そうすると次の已長もば、とや、ちゃった。受けとった人、これを見てあれ、チニブニカンポでこっちがでれすけのようになす。ワリ小言をちようだいしちまった。しかたがない君らの方にそれをも、小言を(爆笑)………どうする間違ったやつ、しかたがないかう訂正しましたというかどうする。

○福祉事務所長(長谷川玄治君)現在印刷所をいそがせましてもう一回新しくすりなおしております。

それをまた送付する考えでございます。

○三三番(山口幸三君)こま、てしま、う、教育委員会といえ、ば本来頭のいい、緻密な連中が事務をとって

ある、学校の先生上ばかりが、それがこともあろうにそういう校正したんだかしらないんだかまるで名前がちぐはぐだろう、それでふゆかいで遺憾にあらずして不愉快を感じた。
いって早く刷る予定か。
刷りなおすと

福祉事務所長(長谷川云治君)一部のは全部「それはわかっていゝのか」と呼ぶ者あり)わかっていゝです。
三三番(山口幸三君)わかっていゝ。わかっていゝて配而したんですか。以上でございます。

問題は小さいが急至をようする。それで笑聲……。
議長(萩生田七郎君)以上議事日程は全部議了いたしました。
オ三回市議会定例会これをもって閉会いたします。
ご苦勞様でした。

午後四時三十分閉会

右會議の次才を録しこゝに署名す。

昭和三十四年九月二十八日

館山市議会議長 萩生田七郎

同 署名議員 田中忠藏

同 三澤節

